

森研第30号
平成25年 6月19日

関係各位

岐阜県森林研究所長

岐阜県森林研究所「研究・成果発表会」の開催について

日頃は、当所の試験研究業務にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、当所では、下記のとおり研究・成果発表会を開催します。つきましては、多くの方にご参加いただくとともに、関係者へお知らせいただきますようご案内申し上げます。
なお、参加を希望される場合は、下記により申し込みをお願いします。

記

1 開催日時および場所

日時：平成25年7月19日（金）13:30～16:00（13:00より受付）
場所：中濃総合庁舎5階大会議室（美濃市生櫛1612-2 TEL：0575-33-4011）

2 プログラム（発表の詳細は別紙（裏面）のとおり）

13:30 開会・あいさつ

13:35～14:35 講演 ニホンジカとどのように関わるか

岐阜大学 応用生物科学部 助教 安藤 正規氏

14:35～14:45 休憩

14:45～15:10 発表1 岐阜県で発生しているニホンジカの造林木への剥皮について

主任研究員 岡本 卓也

15:10～15:35 発表2 カツラ人工林の成長

専門研究員 大洞 智宏

15:35～16:00 発表3 低密度状態で生育したスギ大径材の樹体内強度特性分布

専門研究員 土肥 基生

16:00 閉会

3 定員： 150人程度（参加無料）

4 申し込み方法：

別紙申込書に記入しFAX、メールにより、または葉書に所属・氏名・電話番号を明記の上、
7月12日（金）（必着）までに下記の申し込み先へ送付して下さい。

5 申し込み・問い合わせ先：

岐阜県森林研究所（〒501-3714 美濃市曾代1128-1） 担当：土肥、水谷
電話：0575-33-2585 FAX：0575-33-2584
e-mail：c25108@pref.gifu.lg.jp

【発表内容】

講演 ニホンジカとどのように関わるか

岐阜大学応用生物科学部 助教 あんどうまさき 安藤正規氏

現在全国で様々な野生動物と人間社会との軋轢が問題となっています。特にニホンジカは1990年代頃から生息数の増加や生息地域の拡大が顕著であり、天然林・人工林を問わず大きな問題を引き起こしています。これらの被害の現状や、今後この軋轢を解消していくための方法・枠組み等についてご紹介します。

発表1 岐阜県で発生しているニホンジカの造林木への剥皮について

岐阜県森林研究所 森林環境部 主任研究員 おかもとたくや 岡本卓也

県内において、ニホンジカによる造林木に対する剥皮が発生しています。適切な剥皮対策を行うためには、剥皮の発生状況などについて把握する必要があると考え、調査を行っています。その結果、造林木の谷側で剥皮が発生する割合が高い傾向にあることなどがわかってきましたので報告します。

発表2 カツラ人工林の成長

森林環境部 専門研究員 おおぼらともひろ 大洞智宏

これまで、広葉樹林の伐採後は針葉樹の植栽もしくは天然更新が選択されたため、広葉樹造林に関する事例や情報は多くありません。このため、広葉樹人工林の施業方法を確立することを目的に広葉樹造林に関する試験を実施してきました。今発表では、1985年に植栽されたカツラ人工林の成林状況や成長過程について報告します。

発表3 低密度状態で生育したスギ大径材の樹体内強度特性分布

森林資源部 専門研究員 どひもとお 土肥基生

皆伐後の再造林を低コストに行う一つの方法として低密度植栽が考えられます。しかし、低密度で生育する木材の強度等に関するデータ整備は進んでいません。今回、飛騨地方の県有林からスギ大径材を伐採し、ヤング係数や曲げ強度などの樹体内分布を調べました。将来の生産目標を考える上で参考となるデータが得られましたので紹介します。

【別紙】

岐阜県森林研究所研究・成果発表会
参加申込書

機関名 _____

担当者名 _____

電話番号 _____

所属（部課名等）	氏名

できる限り機関ごとにとりまとめのうえ、FAX、メール、葉書のいずれかでお申し込みください。
必要事項が記入してあれば、この申込書によらなくても結構です。

FAX : 0575-33-2584